

緩みにくい巻き結び **Constriction Knot**

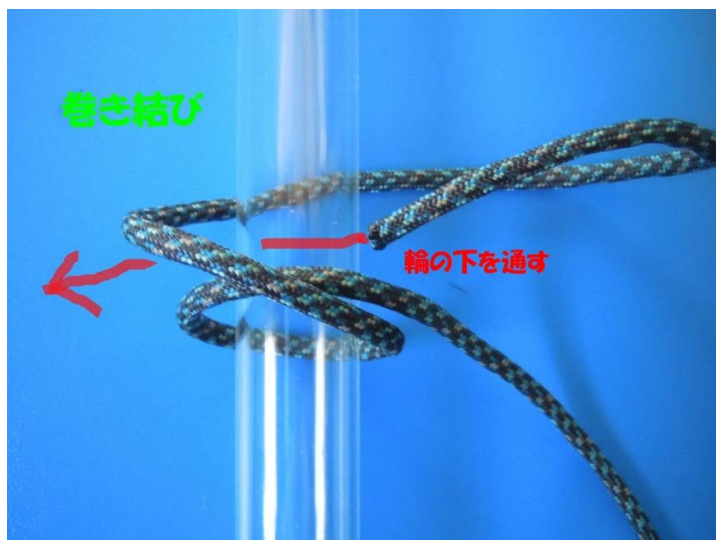


ものを束ねたり、杭にロープを結び付ける場合便利なのが巻き結びです。さらにしっかりと結ぶようダブル巻き結びを使うこともあります。

しかし、テンションが掛かっているうちはよいのですが、引く力が弱くなるとこの結びめは自然に緩んでしまいます。

そこで、この緩みのないようにした結び方が **Constriction Knot** です。Constriction は圧縮とか収縮という意味合いですので、締め付けることができる結び方です。

この2つの結び方の違いは、巻き付けたロープの端をどこに通すかの違いです。



巻き結びはクロスするように巻き付けたコードの2回目の端を巻き始めのコードと平行になるよう、輪の下を通してあります。2回巻きになった左右のコードを上から押さえつけるように締める構造です。ですから、テンションが弱まるとこの押さえも弱くなり、緩んでしまいます。

これに対し、**Constriction Knot** は左右のコードがクロスした下を通すことにより互いに締め付けあうことでしっかりした結びになります。

実際に結んでみるとその違いがはっきり分かります。用途に応じてこれらの結び方を使い分けていきたいと思います。